



国立病院機構 京都医療センター

位置



京都医療センター

伏見区という京都市でもっとも人口の多い区
の中心にあり、

かつ京大病院、京都府立医大病院、京都第二
日赤、京都市立病院、京都第一日赤から離れ
たところにあります。

したがって、重症患者やrare diseaseが搬送され
てきたり近隣の医療機関から紹介されたりして
来院し、また同時にwalk-inで軽症患者や
common diseaseの患者も来院します。

臨床研修の二本柱

- そのような病院で、
 - ローターション
 - 臓器横断的に診療する総合内科・救命救急科が必修であり総合的な臨床能力を身に付けつつ、
 - 各科をローテーションすることで専門的な臨床能力も修得できます。
 - 救急外来担当
 - 1年を通じ担当
 - 軽症やcommon diseasesの患者から救急搬送されてくる重症の患者まで、幅広く急性期の患者の診療を経験できます。

臨床研修医 ER体制

- 救急車来院は救急科医師とともに診察し、、自家用車あるいは歩行来院は3・4年目の専攻医・レジデント1人と研修医3人がチームを組んで対応
 - 担当した症例を提示しfeedbackを受ける機会があります
 - Fullの夜勤明けは12時までに帰宅
- 救命センター医師、病棟当直医、循環器当直医、脳神経センター当直医、産科当直医が必要時バックアップし、また入院となった患者の管理を行う
 - その他、NICU当直、麻酔科集中治療室当直

臨床研修医 ER体制

- 救急車来院
5300台/年
- その他(自家用車/歩行来院)
5600件/年
 - 救急車は救命科医師とともに診療
 - その他(自家用車など)は研修医がfast touch
- 2ヶ月目～24ヶ月目まで、月に5～6回
 - 平均的には平日夜を週に1回、週末昼または夜を2回前後

1年目ローテーション表(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	総合内科+血液内科		麻酔科		救命		外科		内科		小児科・産科婦人科	
2	総合内科+血液内科			麻酔科		救命		外科		内科		小児科
たすき	内科		総合内科+血液内科 (外来研修)		麻酔科		救命		外科		内科	
たすき	内科			総合内科+血液内科 (外来研修)		麻酔科		救命		外科		
たすき	内科		内科		総合内科+血液内科 (外来研修)		麻酔科		救命		外科	
3	内科		内科			総合内科+血液内科		麻酔科		救命		外科
4	内科		外科				総合内科+血液内科		麻酔科		救命	
5	内科		外科		内科			総合内科+血液内科		麻酔科		救命
6	内科			外科		内科			総合内科+血液内科		麻酔科	
7	内科			外科		内科				総合内科+血液内科		麻酔科
8	内科					外科		内科			総合内科+血液内科	
9	内科											

総合内科で内科学・医学の原理原則を確認してもらった後、麻酔科でコントロールされた状況下で侵襲的手技を修得、その後救命科で重篤患者の管理を経験してもらいます。

たすきがけ1年目

必須	選択
総合内科・血液内科	内分泌・代謝内科
麻酔科	糖尿病センター
救命科	腎臓内科
外科	循環器科
一般外来(内科系ローテ中週1回)	消化器科
	呼吸器科
	神経内科
	など

研修医勉強会

- ER症例検討会（毎週火曜日）
- 研修医ランチオンセミナー（毎週金曜日）
- ERレクチャー（研修医の希望する内容を専門医がレクチャー、2024年度は20回開催）
- その他、CPC、院内外セミナーなどへの参加



後期研修プログラム

市中病院としては充実しています

- 当院が有する基幹施設としてのプログラム
 - 内科
 - 外科
 - 産科婦人科
 - 整形外科
 - 救命救急科
 - 麻酔科
- 上記以外に京大その他のプログラムの連携施設の診療科も多数

以下を参考に

- 京都医療センターホームページ



- マイナビページ



- レジナビページ

